

田方森林組合だより

やまなみ

第14号

令和5年
9月1日発行

*** 令和7年開校 ***

伊豆中学校 建築使用予定木材

(伊豆大平中間土場)



去る6月21日に開催された「第19回通常総代会」において、代表理事組合長に再任されました。組合運営の継続性や安定化を実現するため、3期目も継続して務めることとなりました。組合員の皆様をはじめ関係機関の方々、引き続きよろしくお願い致します。

さて、当組合の令和4年度決算は、年間出材量8,204m(前年比93%)、事業総収益2億68百万円(前年比83%)、税引前当期純利益7百万円(前年比53%)と「ウッドショック」との報道もされた令和3年度に比べ何れも減少となりました。

この要因としてはウッドショックの反動もあり、国内の一戸建て新築住宅需要の低迷、住宅建材非木質化の進展等により木材価格が低下した影響が大きいと考えています。但し、当組合で木材出荷した山林所有者(組合員)の皆様には、令和3年度に近い還付金をお返しすることができたことを加えて御報告申し上げます。

このような情勢の中ですが、我が国の木材自給率は令和3年で44%と以前に比べ大幅に向上し、長く続いた外国産材中心の時代から国産材・地元産材が求められる時代に移りつつあると感じています。木材の素材生産者である当組合にも生産力の向上が強く求められており、微力ながら期待に応え森林組合としての責任を果たして行く所存です。

また、木材流通面では令和5年1月、静岡県森林組合連合会により天城北道路大平IC付近に「伊豆大平中間土場」(A11・9ha)が開業され、伊豆地域木材の集積拠点として期待されています。当組合としても、原木の市場搬送の効率化や省力化実現のために有効活用することを目指しています。

今後、当組合が十分に力を発揮し地域に貢献するためにも組合員を始め関係機関の皆様の御指導、御協力をよろしくお願い致します。



代表理事組合長
岡田悦郎

組合長あいさつ



重機の動き、
現場の音が好き。
いつか自分の現場を
持ちたい。

業務課
高橋 光さん
(伊豆市在住)



職員紹介

令和5年4月に入社した
業務課 高橋光さん(田方農業高校卒)
を紹介します。地元伊豆市の出身です。

◎ 就職のきっかけは？

会社見学の時に現場を見て、重機の動きや木を切って倒す音を聞いていたら楽しかったです。ずっと座っている仕事より現場に行く方が合っていると思ったので決めました。

◎ 入社してどうですか？

楽しいです。山を歩くのはきついんですけど、先輩が私の体力を見ながら歩いてくれるので安心して現場に出かけています。技術課の方は重機を動かしたり、木を倒したり、自分には絶対にできない事をしているのすごいです。毎日新しく知る事ばかりで社会人になったんだなと感じています。家族からは『楽しそうで良かったね』って言われます。又、『今日はなにをやったの?』ってすごく聞かれます。

◎ これから

何年か経って自分の現場を持てるようにがんばります。

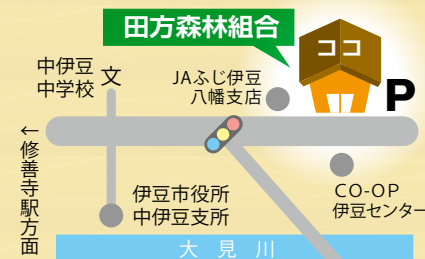
川回業務課長 よりひとこと

まだ組合に入ったばかりでいろいろと大変だとは思いますがわからないことは一人で悩まずにどんどん先輩に聞いてください。
光さんの2年後の成長した姿を楽しみにしています。



いて、チームにも認めてもらい、試合に出られるようになりました。高校では勉強だけではなく、大事なものをいっぱい手に入れた感じがします。

◀業務課
坂井・高橋・杉村



組合員のみなさまへ

下記のような場合は、組合へご連絡ください
◇ 名義人が死亡された出資証券がある
◇ 住所が変わった ◇ 出資金を譲渡したい

発行

田方森林組合

〒410-2505 静岡県伊豆市八幡 761-1

TEL (0558) 83-0148

FAX (0558) 83-3757



Facebook やってます

田方森林組合

検索

* 役職員紹介 *

令和5年6月21日に役員改選を行いました



◆ 理 事

役 職 名	氏 名
代表理事組合長	岡田 悦郎
副 組 合 長	荻原 重孝
理 事	吉川 安衛
//	西堀 勝廣
//	飯田 光敏
//	西尾 隆夫
//	森 修司
//	遠藤 正
//	宮内 靖
//	梅原 敏男
//	鈴木 正
実践的能力理事	川口 千一

◆ 監 事

代 表 監 事	石井 敏陽
監 事	梅原勇一郎

◆ 総 務 課

理事兼事務局長	鈴木 正
総 務 課 副 主 任	牧嶋 幸美
//	岡 咲子

◆ 業 務 課

理事兼業務課長	川口 千一
業 務 課 主 任	鈴木 一輝
//	高橋 良佑
業 務 課 副 主 任	杉村 智美
//	坂井 昌子
業 務 課	野田 光洋
//	高橋 光

◆ 技 術 課

統 括 責 任 者	堀江 倫弘
統括責任者補佐	櫻井 恭兵
技 術 課 主 任	中山 亮
//	遠藤 潤
//	篠原 一仁
技 術 課	加藤 卓真
//	鈴木 悠斗
//	宮島 仁
//	堀江 哲平
//	杉山 晃司
//	勝呂 宗治
//	鈴木 晴久

SGEC森林認証を取得しました

森林認証とは、木材が、持続可能に管理された森林から伐採されたものであることを証明する仕組みです。伊豆半島森林認証ネットワークの一員として森林認証を取得し、認証材を普及させることで、森林生態系サービス、環境への配慮やCSR活動、SDGsへの取り組みに貢献することを目指しています。令和4年11月に行われた現地審査では、2日間にわたり構成メンバーそれぞれが管理する伊豆市、伊豆の国市、下田市の森林を回り、たくさんの学びを得ました。田方森林組合ではこれまで以上に森林管理のレベルを向上させ、伊豆の豊かな自然環境の保全と持続可能な木材生産を両立する健全な森林育成に取り組んでいきたいと思っています。

業務課 坂井昌子

伊豆半島森林認証ネットワーク 構成メンバー

●伊豆市 ●静岡県東部農林事務所
●静岡県賀茂農林事務所 ●田方森林組合

静岡県森林組合連合会の運営する『伊豆大平中間土場』（原木集荷場）が伊豆市大平（天城北道路大平IC付近）に完成しました。積み上がったたくさんの木材をご覧になった方も多いのではないのでしょうか。木材はその後どこに行くのでしょうか。

伊豆大平中間土場
完成（写真／表紙）

令和5年度より5年間、伊豆市市有林の管理施業を行うこととなりました。管理施業の方法や補助金の利用等について提案をさせて頂き、伊豆市と連携して市民の皆様の貴重な財産である市有林の計画的な管理及び施業を行っていききたいと考えています。

伊豆市市有林の
管理施業を行います

静岡県の開催する、林業の魅力発信『林業出前講座』に協力しています。昨年は静岡県立田方農業高校の生徒さんたちを対象に、伐木作業や高性能林業

田方農業高校へ
林業出前講座



昨年の『林業出前講座』の様子

か…。その場で地元の製材所に買い付けられたり、木材市場に運ばれてセリにかけられたり、チップ工場に運ばれて合板などに製品化されたりするのです。さらに、この土場に積まれた原木のなかには、令和7年4月に伊豆市内3中学校を統合して開校する『伊豆中学校』の建築に使用される予定のヒノキの木材も含まれています。田方森林組合でも山で切った原木を搬入しています。将来的には伊豆半島のすべての木材が集まることを目指している伊豆大平中間土場を今後も積極的に活用していきたいと思っています。

機械の実演を行いました。参加した生徒さんからは『木を切るときにいろいろなことを考えながら伐っている姿を見て難しそうだと思った』『貴重な体験ができた林業に興味を持つことができた』といった感想がありました。出前講座は今年も行われます。林業の仕事に関心を持ってもらえるよう、その魅力ややりがい伝えてきたいと思っています。



▲ 組合長あいさつ



▲ 総代会の様子

令和4年度におきましては、新型コロナウイルスの影響により高値で推移していた木材価格が一転年間を通して下降傾向にあったため、木材販売額が前年比3千2百万円の減となりました。その結果、年間出材量は8,204 m³（前年比93%）、施業面積は120 ha（前年比68%）、事業総収益は2億6千万円となり、過去最高の事業収益を上げた令和3年度には及びませんでした。7百万円の税引前当期純利益を上げることができました。

これもひとえに組合員の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力・ご支援の賜物と深く御礼申し上げます。

令和5年6月21日（水）伊豆市民文化ホールにおいて、第19回通常総代会を開催いたしました。総代のみなさま、来賓のみなさまにご来場いただき、4年ぶりの通常開催となりました。（出席数162名。本人出席17名、議決権行使者145名）

岡田組合長の挨拶のあと、修善寺地区の波多野美治総代が議長に選任され議事に入り、提出された全議案と附帯決議が原案通り可決承認されました。

第19回 通常総代会開催

● 新総代就任のおしらせ

令和5年4月1日より、中伊豆・湯ヶ島・修善寺・土肥地区から各50名、計200名の組合員の皆様に、新総代にご就任いただきました。先日の通常総代会におきましては、ご来場もしくは議決権の行使にてご参加いただき、無事開催することができました。誠にありがとうございました。これから三年の任期の間、組合運営へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。また、前総代の皆様におかれましては、組合員の情報整理、後任総代の推薦等、多岐にわたりの協力をいただき誠にありがとうございました。

貸借対照表

令和5年3月31日現在

（単位：千円）

勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
現 金	28	購 買 掛 金	45
預 金	160,476	未 払 金	15,720
売 掛 金	33	未 払 消 費 税	0
未 収 金	60,359	未 払 法 人 税 等	1,033
棚 卸 資 産	154	預 り 金	970
立 替 金	98	固定資産購入引当金	20,000
仮 払 金	289	流 動 負 債 合 計	37,768
前 払 費 用	260	長 期 未 払 金	0
流 動 資 産 合 計	221,697	退 職 給 付 引 当 金	28,331
有 形 固 定 資 産	63,649	固 定 負 債 合 計	28,331
無 形 固 定 資 産	13,937	負 債 合 計	66,099
外 部 出 資 金	9,785	出 資 金	22,377
固 定 資 産 合 計	87,371	利 益 剰 余 金	220,462
資 産 合 計	309,068	資 本 準 備 金	130
		純 資 産 合 計	242,969
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	309,068

剰余金処分

（単位：千円）

科 目	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金		16,944
1 当期剰余金	6,523	
2 前期繰越剰余金	10,421	
II 剰余金処分額		2,000
III 次期繰越剰余金		14,944

損益計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで （単位：千円）

科 目	合 計
事業収益	268,448
事業費用	179,049
【事業総利益】	89,399
事業管理費	86,894
【事業利益】	2,505
事業外収益	110
事業外費用	50
事業外損益	60
【経常利益】	2,565
特別利益	13,650
特別損失	8,659
特別損益	4,991
【税引前当期純利益】	7,556
法人税、住民税額 及び事業税額	1,033
【当期利益剰余金】	6,523
【前期繰越剰余金】	10,421
【当期末処分剰余金】	16,944